



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社
コード番号 8085 URL <http://www.narasaki.co.jp>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 毎原 吉紀

TEL 03-6732-7355

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	44,104	△4.8	559	20.7	552	20.3	342	△49.3
27年3月期第2四半期	46,347	△4.2	463	△44.1	458	△43.0	675	32.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 372百万円 (△51.5%) 27年3月期第2四半期 767百万円 (16.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	12.98	—
27年3月期第2四半期	25.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	41,883		10,719			24.8
27年3月期	43,277		10,679			23.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 10,396百万円 27年3月期 10,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	1.0	1,850	2.0	1,850	1.5	1,000	△27.9	37.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	26,628,000 株	27年3月期	26,628,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	440,327 株	27年3月期	161,836 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	26,377,175 株	27年3月期2Q	26,418,511 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成27年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の持ち直しや雇用環境の改善により回復基調で推移しましたが、中国経済の減速など景気の先行きには不透明感が生じております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画の基本方針に基づき、グループ総合力を発揮し、収益力強化、財務体質改善等に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は441億4百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は5億59百万円（前年同期比20.7%増）、経常利益は5億52百万円（前年同期比20.3%増）となりました。前期では船舶事故に伴う受取保険金7億82百万円を特別利益として計上しましたが、当第2四半期は特別損益の計上が無く、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億42百万円（前年同期比49.3%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(電機関連事業)

電機関連事業では、生産設備関連のFA機器製品、レーザ加工機の販売が好調に推移しましたが、建築設備関連は空調冷熱設備物件の減少等により苦戦いたしました。

以上の結果、売上高は104億42百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は4億19百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

(機械関連事業)

機械関連事業では、産業機械において工業機械関連設備の販売が好調に推移し、農業施設において受注物件の納入が順調に進んだことから、前年同期比で増収となり、セグメント損失は大幅に縮小しました。

以上の結果、売上高は25億14百万円（前年同期比23.9%増）、セグメント損失1億91百万円（前年同期はセグメント損失2億96百万円）となりました。

(建材・燃料関連事業)

建材関連事業では、民間物件向けの建築資材が好調に推移しましたが、公共工事の発注遅れ・減少により土木等の関連資材は伸び悩みました。

燃料関連事業では、ガソリン等の販売数量の確保に努めたものの、価格面での競争が厳しく、苦戦を強いられました。

以上の結果、売上高は204億53百万円（前年同期比11.9%減）、セグメント利益は54百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

(海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、鋼材・木材・セメントなど建設資材の取扱いが低調であったものの、効率作業による原価削減等により、前年同期比で増益となりました。

以上の結果、売上高は82億37百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は2億67百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

(建設機械関連事業)

建設機械関連事業では、コンクリートポンプ車等の納入が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は24億56百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は1億3百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は418億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億94百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少14億76百万円であります。

負債は311億63百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億34百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少5億4百万円、借入金の減少2億43百万円、未払法人税等の減少3億75百万円であります。

純資産は107億19百万円となり、前連結会計年度末と比べ40百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント増加し、24.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は61億97百万円(前年同期は61億81百万円)となり、前連結会計年度末に比べて77百万円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億24百万円の収入(前年同期は17億21百万円の収入)となりました。主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益5億52百万円、売上債権の減少額14億76百万円、主な支出項目は、仕入債務の減少額5億2百万円、法人税等支払額5億2百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億90百万円の支出(前年同期は2億66百万円の支出)となりました。主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出1億51百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億10百万円の支出(前年同期は19億85百万円の支出)となりました。主な支出項目は、借入金の純減少額2億43百万円、配当金の支払額1億88百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,296	6,230
受取手形及び売掛金	20,683	19,206
商品及び製品	639	674
原材料及び貯蔵品	31	31
その他	1,444	1,664
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	29,080	27,795
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,740	5,740
その他(純額)	3,714	3,701
有形固定資産合計	9,455	9,442
無形固定資産		
	89	107
投資その他の資産		
その他	4,660	4,545
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	4,651	4,537
固定資産合計	14,196	14,088
資産合計	43,277	41,883

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,694	20,189
短期借入金	2,200	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,948	1,859
未払法人税等	511	135
賞与引当金	357	312
その他	1,452	1,441
流動負債合計	27,163	25,737
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	1,738	1,982
役員退職慰労引当金	100	16
特別修繕引当金	46	56
退職給付に係る負債	1,002	989
その他	2,347	2,179
固定負債合計	5,434	5,425
負債合計	32,598	31,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,322	1,288
利益剰余金	6,154	6,311
自己株式	△20	△128
株主資本合計	9,811	9,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	351	359
繰延ヘッジ損益	1	△0
退職給付に係る調整累計額	198	210
その他の包括利益累計額合計	552	570
非支配株主持分	315	323
純資産合計	10,679	10,719
負債純資産合計	43,277	41,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	46,347	44,104
売上原価	42,377	40,025
売上総利益	3,970	4,078
販売費及び一般管理費	3,506	3,519
営業利益	463	559
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	19	24
受取賃貸料	34	34
持分法による投資利益	4	6
その他	16	12
営業外収益合計	83	85
営業外費用		
支払利息	52	56
その他	35	36
営業外費用合計	88	92
経常利益	458	552
特別利益		
投資有価証券売却益	3	—
受取保険金	782	—
特別利益合計	785	—
特別損失		
損害賠償金	43	—
特別損失合計	43	—
税金等調整前四半期純利益	1,200	552
法人税、住民税及び事業税	471	120
法人税等調整額	△4	76
法人税等合計	467	196
四半期純利益	733	355
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	675	342

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	733	355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	7
繰延ヘッジ損益	2	△2
退職給付に係る調整額	21	11
その他の包括利益合計	34	17
四半期包括利益	767	372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708	360
非支配株主に係る四半期包括利益	59	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,200	552
減価償却費	228	275
長期前払費用償却額	4	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	△45
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	67	1
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△130	△73
受取利息及び受取配当金	△28	△31
支払利息	52	56
持分法による投資損益 (△は益)	△4	△6
受取保険金	△782	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,744	1,476
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△202	△35
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,601	△502
その他	67	△364
小計	1,580	1,307
利息及び配当金の受取額	32	35
利息の支払額	△53	△57
保険金の受取額	900	—
損害賠償金の支払額	—	△57
法人税等の支払額	△738	△502
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,721	724
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△225	△151
有形固定資産の売却による収入	25	0
投資有価証券の取得による支出	△2	△47
投資有価証券の売却による収入	5	—
貸付けによる支出	△5	△4
貸付金の回収による収入	5	4
その他	△69	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500	△400
長期借入れによる収入	—	1,220
長期借入金の返済による支出	△1,216	△1,063
自己株式の売却による収入	11	31
自己株式の取得による支出	△0	△119
配当金の支払額	△182	△183
非支配株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△93	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,985	△610
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△529	△77
現金及び現金同等物の期首残高	6,710	6,274
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,181	6,197

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	10,088	2,029	23,205	8,746	2,277	46,347	—	46,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	304	3	—	307	△307	—
計	10,088	2,029	23,509	8,749	2,277	46,655	△307	46,347
セグメント利益又は セグメント損失(△)	447	△296	63	219	115	549	△86	463

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△92百万円、セグメント間取引消去額6百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	10,442	2,514	20,453	8,237	2,456	44,104	—	44,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	276	3	21	301	△301	—
計	10,442	2,514	20,730	8,240	2,477	44,405	△301	44,104
セグメント利益又は セグメント損失(△)	419	△191	54	267	103	653	△94	559

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△97百万円、セグメント間取引消去額3百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。